

気球空撮システムを使用した情報収集訓練

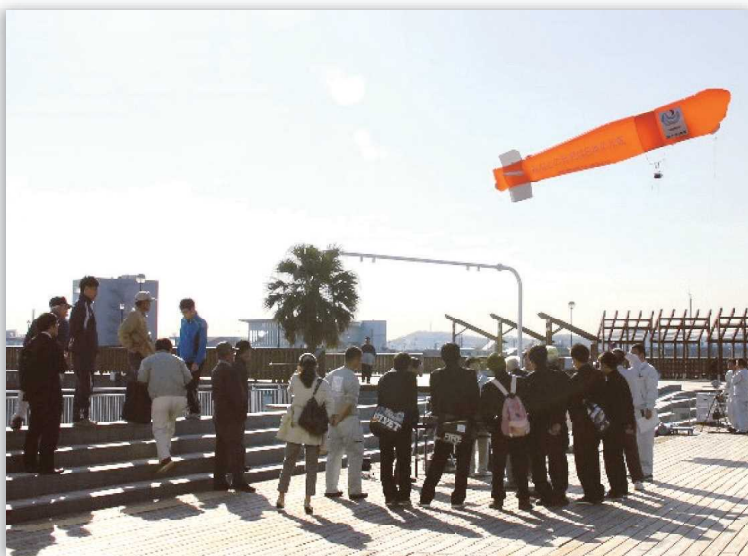
気球空撮システムは、小松島港湾・空港整備事務所が所有するシステムで、気球にカメラと映像送信機を取り付けて空に上げ、地上のコントローラと受信機で上空からの映像を確認することができる情報収集機器です。なお、本システムは、最大高度250mからの空撮を行うことができ、大規模な災害が発生し、道路や建物の被災等によって陸上からの被害状況の確認が難しい場合などでも、船舶等に搭載して海上から被害状況を確認することで、災害時の被災状況を早期に把握することが可能となります。

今回の情報収集訓練では、実際に気球空撮システムの気球を浮かべて、参加者がコントローラを操作することにより、上空からの映像や画像を撮影してもらいました。

災害対策用の機器は、いざというときにすぐ使えるよう普段から操作に習熟しておくことが重要です。今回は小松島港周辺の方々に本システムを知っていただくよい機会になったのではないかと思います。



気球空撮システムの操作説明状況



気球空撮システムの操作演習状況

気球空撮システム

カメラ及び映像送信機

気球(カメラ・映像送信機)

映像受信装置

カメラ用コントローラ

気球用係留索